

決 裁	議 長	局 長	主 事

受付

報 告 書

平成 年 月 日

湯前議会議長 山下 力 様

湯前町議会議員

議員として参加（出席）した研修（会議）の内容（結果）は、
次のとおりでありました。

期 間	平成29年 3月 2日（木）
場 所	湯前町保健センター「集団検診室」
目 的	平成28年度湯前町議会議員研修会

報 告 の 内 容	<p>◆研修内容</p> <p>演題：人口減少時代のまちづくり</p> <p>講師：九州地域情報化研究所 横山正人 氏</p>
	<p>1. 湯前町の現状</p> <p>【◎良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の青年団が存続。 ・ユニークな町民が多い。 ・町民コミュニティが維持されている。 <p>【×弱点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊富な地域資源がある。 人・物・金・情報の循環において、「金：×」、「情報：△」が大きな課題。 ・豊富な地域資源に対する町民の認知感覚度が低い。 ・豊富な地域資源を活かしきれていない。 ・人口減少に対する危機意識の希薄さ。 のんびりと現状を容易に受け入れている。 ・水稻中心の農業。

- ・町民コミュニティが上手に活かされていない。
- ・おもてなし等をビジネスに変える仕組みがない。
例. ラッピング列車 → もう少し滞在してほしい。
- ・イベントと地域資源が連動していない。

2. 人口減少対策の鍵

- ・まちの賑わいを少しでも取り戻す。
- ・若年町民の流出抑制と流入人口の拡大。

3. 解決策のキーワード

- ・雇用機会の確保
- ・生活環境の充実、利便性
- ・賑わいと交流の場の創出
- ・居住環境の確保と充実
- ・コミュニティの醸成
- ・地域住民のまちづくりへの関心と意欲の醸成
(役場職員の限界 → 住民参加を促す)

4. まちづくり会社で何ができるか？

- ・町所有施設の運営管理
- ・観光振興事業
- ・さとふる支援事業
- ・Eコマース事業
- ・情報発信事業
- ・教育支援事業 (起業家育成事業、生涯学習支援事業など)
- ・コミュニティ創生事業
- ・居住相談支援事業 など

5. 役場に求めたいこと

- ・今がチャンス、後手後手では手遅れになる自覚を！
- ・もっと危機感を持とう！
- ・第1ステップは、役場が総合プロデュースする気概を！
- ・役場職員は町に出よう！
- ・町民の意識づけ、啓発にこれまで以上に努力を！

◆所感

「まちづくり会社」構想は、私が考える未来ビジョンと方向性が同じであり、本研修はとても共感を得ながら学ぶことができた。

「まちづくり会社」の実現に向けて、一般質問などで追究していきたい。